

平成十五年度漁協運動

功労者表彰式

平成十五年度（第十八回）漁協運動功労者表彰式が、去る十一月二十一日、東京・虎ノ門パストラルにおいて行われた。

はじめに、植村正治JF全漁連会長が「浜の現場、系統組織あるいは婦人組織において長年にわたり漁協運動の推進・発展に多大な貢献をしてきた皆さま方に漁協系統を代表して敬意を表する」と主催者挨拶を述べ、来賓を代表して、木村太郎農林水産大臣政務官が亀井善之農林水産大臣の祝辞を代読した。

続いて、表彰式に移り、植村会長から受賞者一人ひとりに功労章が授与され、功労者を代表して嶋 洋一JF串本組合長（JF和歌山漁連会長）、JF和歌山信漁連理事）が挨拶した。

この功労章は、漁協運動のリーダーとして長年活動した功績を顕彰するため、昭和六十一年に制定され、今年度本県からは、古川俊JF大戸瀬漁協組合長（JF青森信漁連会長）が受賞された。



JF大戸瀬組合長
（JF青森信漁連会長）

古川 俊

功績の内容

永年に亘り定置網漁業に従事する傍ら、青森県定置漁業協会監事をはじめ、大戸瀬漁業協同組合代表理事組合長として優れた指導力と統率力を遺憾なく発揮し、漁業生産性の向上と組合事業の更なる発展に貢献している。また、青森県西部海区漁業調整委員をはじめ、青森県さけます増殖振興協会理事、青森県栽培漁業推進協議会委員を勤め、沿岸漁業のリーダーとして漁業資源の回復と維持に取り組んでいる。更に、青森県信用漁業協同組合連合会代表理事会長をはじめ青森県沿岸漁場開発協会副会長等数々の要職にあつて青森県漁業の振興発展に貢献している。